

■PM8 SPECIFICATIONS/主な規格

- 1) 周波数特性 20Hz ~ 20KHz (+1, -3dB)
- 2) 全高調波歪 0.1%以下
- 3) 入力換算ノイズ -125dBu以下 (IHF-A)
- 4) 最大出力レベル +21dBu以上
- 5) イコライザー特性 TREBLE : 10KHz ±15dB ±2dB
BASS : 100Hz ±15dB ±2dB
- 6) レベルインジケータ 0dB = +4dBu ±1dB
- 7) チャンネルピークインジケータ +14dBu ±3dB
- 8) 最大電圧利得 CH INPUT → MAIN OUT : 66dB ±2dB
CH INPUT → AUX OUT : 72dB ±2dB
CH INPUT → LINE OUT : 52dB ±2dB
- 9) 最大入力レベル +15dBu以上 (TRIM MIN)
- 10) 重量 2.7 Kg
- 11) 寸法 400(幅) × 90(高) × 205(奥行)mm
- 12) 消費電力 10W

■出力端子仕様

	インピーダンス	定格レベル	使用コネクタ
CH INPUT	47K Ω	0 ~ -50dBu	ホーンジャック
CH INSERT	47K Ω	+4dBu	ホーンジャック
STEREO CH IN	47K Ω	-10dBu	CH9.10 : ホーンジャック CH11 ~ 14 : ピンジャック
AUX OUT	10K Ω	+4dBu	ホーンジャック
LINE OUT	10K Ω	-10dBu	ピンジャック
MAIN OUT	10K Ω	+4dBu	ホーンジャック
PHONES	32 Ω	70mW × 2	ホーンジャック

0dBu = 0.775Vrms

PM8

8 CHANNEL PERSONAL STEREO MIXER

取扱説明書

※規格及び外観は、改良等の理由で予告なしに変更することがあります。



 advanced technology works.

株式会社 日伸音波製作所

■はじめに

このたびは、マクソン8チャンネルミキサーPM8をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。PM8はコンパクトミキサーでありながら多くのファンクションを備え、その機能の高さは高級機器をも越えるもので、ステージに、MTRに、さらにはPAにと多目的仕様に設計された14インプット2アウトプットのミキサーです。

マクソンは新しい時代の要求と皆様のご意見を反映した製品を常にお届けできるように心掛けております。PM8の性能をフルに活用し末永くご愛用していただくためにも、ご使用前には必ずこの説明書をお読みください。

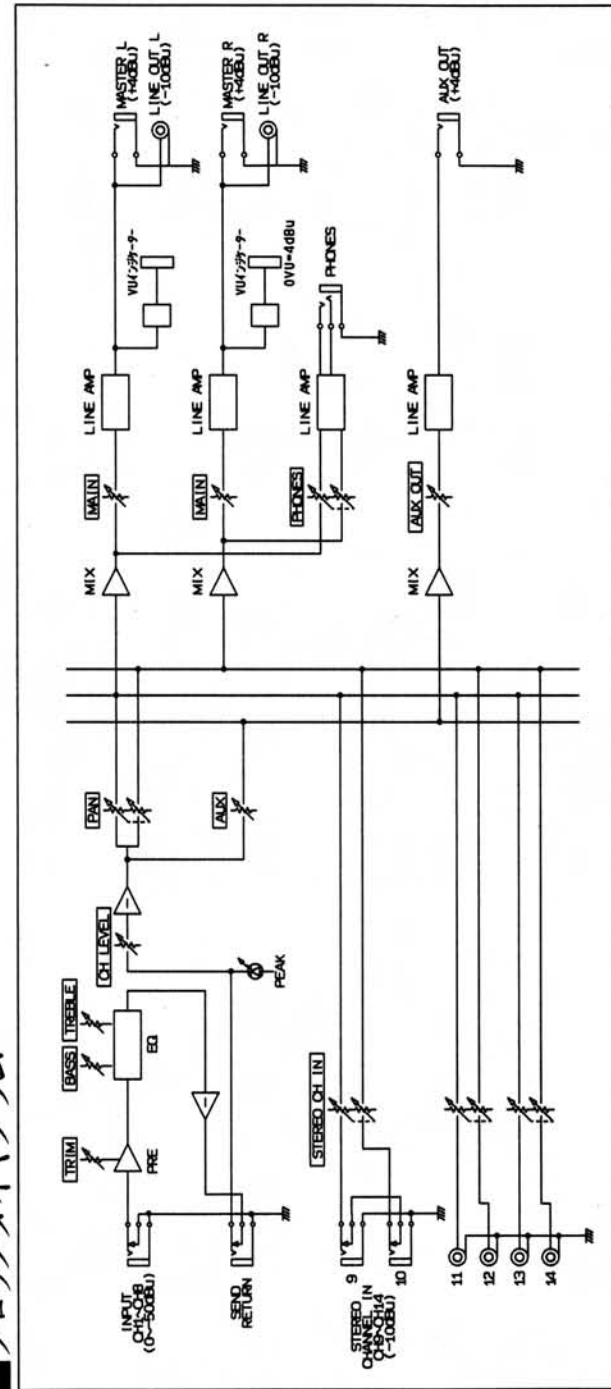
■主な機能／特長

- 14インプット2アウトプットの多目的ミキサーです。
- CHI～CH8にはチャンネルインサート機能があり、効果音響機器の接続に便利です。
- 各チャンネルに50dB連続可変可能なTRIMが装備されていますので、どの様な入力にも対応できます。
- PEAKのインジケータが各インプットモジュールについており、レベルの調整が容易にできます。
- 使用中確認しやすい、7灯式レベルインジケータを装備しています。
- ツマミの色を機能別にしているので操作が簡単にできます。

■使用上の注意

- このセットはAC100V専用です。
- 電源コードを電源コンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばって抜くなどの無理な使い方をすると断線などの故障の原因になります。
- 電源コードは大切に扱ってください。ビニールの被覆が切れたりこすれたりして芯線が露出しているコードをそのまま使用すると感電や火災の原因になります。
- ケースのカバーを取り外して内部に手を触れないでください。
- 本機内部に水などの液体や可燃物、ピンやクリップなどの金属類を入れないように注意してください。感電や故障の原因になります。
- 本機を設置する場所は、0℃～40℃の場所で、極端に高温、低温、温度差の激しい場所でのご使用は避けてください。
- ホコリや湿気の少ない風通しの良い場所、又、電源電圧の変動が少ない場所でご使用ください。

■ブロックダイヤグラム



*各部の名称と使い方

〈前面パネル〉

① PEAK

各チャンネルのレベルボリューム(フェーダー)に入る信号の大きさが+14dBu以上になると点灯します。TRIMを状況に合わせてコントロールします。

② TRIM

各チャンネルの入力レベルに合せるボリュームです。規定入力レベルを-50dBu~0dBuまで連続的に50dB可変します。最大入力レベルは+15dBuです。入力レベルに合わせて適正な位置にセットしてください。

③ TREBLE

高域の音質をコントロールします。10KHzにて±15dB可変できます。
“0”のポジションでフラットになります。

④ BASS

低域の音質をコントロールします。100Hzにて±15dB可変できます。
“0”のポジションでフラットになります。

⑤ AUX

ポストフェーダー信号を取り出しミキシングバランスをとるボリュームです。CH LEVEL(フェーダー)の位置に影響されますのでCH LEVELが-∞の時には出力がなくなります。効果音機器等に接続します。

⑥ PAN

各チャンネルごとの入力信号をパンポットによって音像の定位を左右任意に設定できます。

⑦ CH LEVEL

各チャンネルの信号を⑧のMAIN LEVELへバランスをとりながらミキシングするチャンネルレベルボリューム(フェーダー)です。

⑧ MAIN LEVEL

各チャンネルの信号をミキシングした後、総合送りレベルを調整します。信号は背面の“MAIN OUT”“LINE OUT”より送り出されます。

⑨ AUX OUT

各チャンネルのAUXの信号をミキシングした後AUXの総合送りレベルを調整します。信号は背面の“AUX OUT”より送り出されます。

⑩ STEREO CH IN

背面パネルの“STEREO CH IN”のレベルを調整します。

⑪ PHONES LEVEL

⑫のPHONESの出力レベルを調整します。

⑫ PHONES JACK

ヘッドフォンを接続するジャックです。

*ヘッドフォンはステレオ仕様でインピーダンス32Ω以上のものをお使いください。

モノラル仕様で32Ω以下のヘッドフォンをご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。

⑬ OUTPUT LEVEL INDICATER

MAIN OUTのレベルを表示します。

*0dB = +4dBu

⑭ POWER INDICATER

背面にある電源スイッチをONすると点灯します。

〈背面パネル〉

⑮ CH INPUT

CH1~CH8の入力ジャックです。マイクロホン等外部からのソースが-50dBu~0dBuの規定入力信号を接続してください。

⑯ CH INSERT

イコライザー等の外部機器に接続し、エフェクトループにするための端子です。

この端子はホンタイプのステレोजャックになっており、プラグのチップ(先端)は入力、リング(まわり)は出力の端子です。一般的にはYケーブルを使用すると便利です。

⑰ STEREO CH IN

CH9~CH14の入力ジャックです。外部からのソースが-10dBuの規定入力信号を接続してください。

CH9, 11, 13はMAINLEVELのLフェーダーに、CH10, 12, 14はRフェーダーに送られます。

なお、CH9, 10は9にのみ接続した場合はL, Rフェーダーに送られます。

⑱ AUX OUT

AUX信号の出力ジャックです。エコー等、効果音響機器へ信号を送ります。

⑲ MAIN OUT

MAIN信号の出力です。レベルメーターが“0”の時に+4dBuの出力が得られます。

⑳ LINE OUT

MAIN OUTと同一の信号が得られます。ピンジャックになっています。(レベルはMAIN OUTより-14dBとなります)

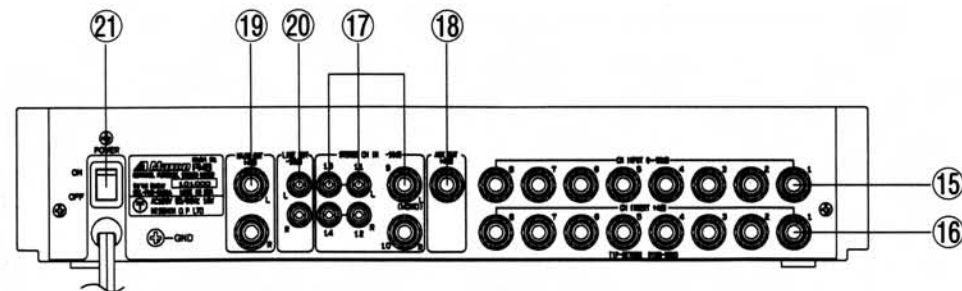
㉑ POWER SW

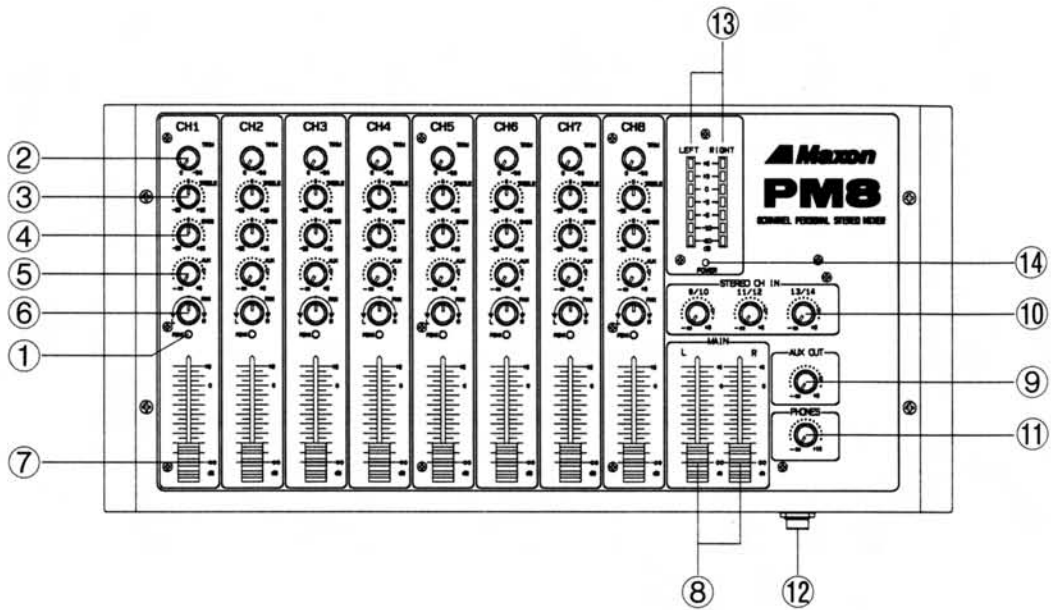
電源スイッチです。“ON”で電源が入りPOWER LEDが点灯します。

“OFF”で電源が切れます。

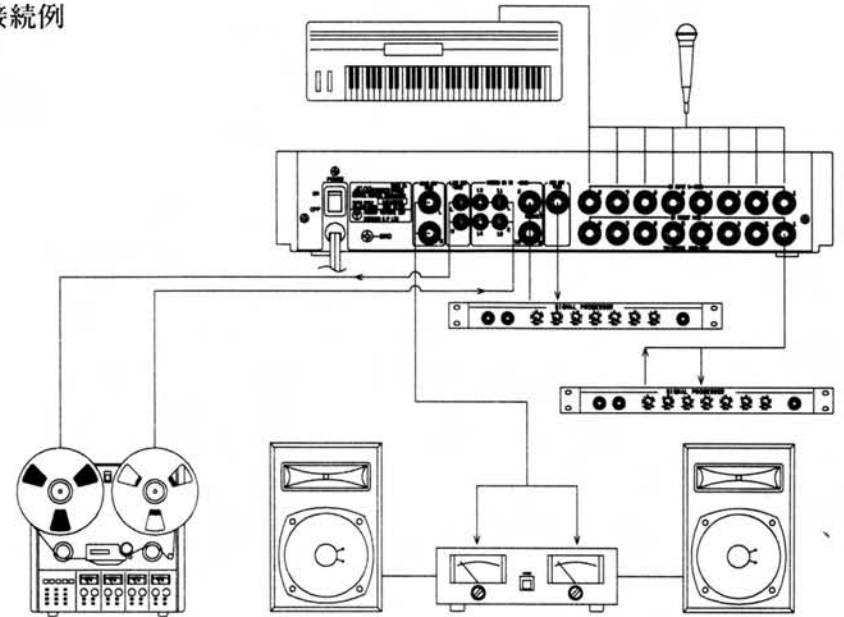
*電源投入時、又OFF時にはメインボリュームを-∞まで絞ってください。

ボリュームが上がったままスイッチを操作しますとスピーカーを傷める恐れがあります。

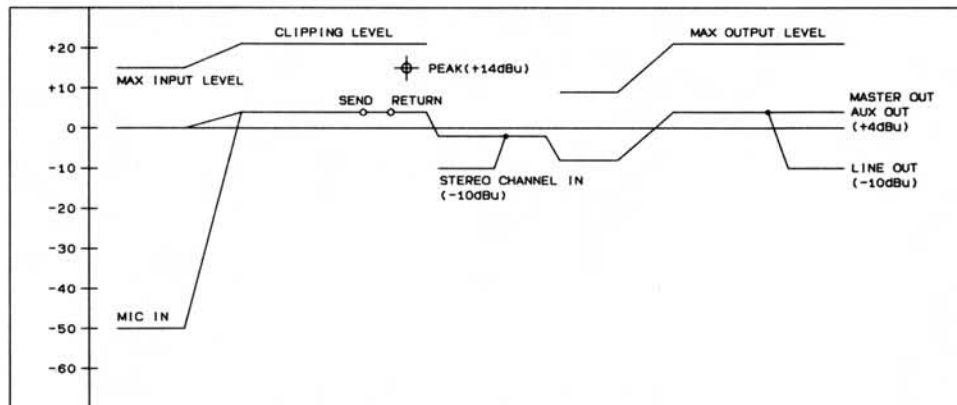




■ 接続例



■ レベルダイアグラム



■ 寸法図

